

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 朝日ラバー
 コード番号 5162 URL <http://www.asahi-rubber.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 潤
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 堀 信幸
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日 配当支払開始予定日 平成26年12月8日

TEL 048-650-6051

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	3,025	9.8	156	31.6	166	37.9	104	35.0
26年3月期第2四半期	2,754	14.4	119	35.0	120	87.0	77	91.7

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 98百万円 (△37.0%) 26年3月期第2四半期 156百万円 (263.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	23.02	—
26年3月期第2四半期	17.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
27年3月期第2四半期	8,671		3,285	37.9			722.46	
26年3月期	8,456		3,209	38.0			705.77	

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 3,285百万円 26年3月期 3,209百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
27年3月期	—	3.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,050	6.6	300	4.8	300	1.3	180	11.8	39.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	4,618,520 株	26年3月期	4,618,520 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期2Q	70,900 株	26年3月期	70,900 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	4,547,620 株	26年3月期2Q	4,547,716 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期決算財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、上記予想値と異なる場合があります。

なお、上記予想値に関する事項は添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国の景気は個人消費や企業収益の好調により拡大傾向にありますが、欧州及び中国の景気は一部で鈍化がみられる状況となっております。日本経済においては、国内景気は回復基調であるものの、消費税率引き上げ後の内需の低迷などによりその動きが弱くなっており、先行き不透明な状況であります。

このような中、当社グループは、2020年を見据えたビジョン「AR-2020 VISION」を策定し、平成26年4月からスタートした新中期三カ年計画を「V-1計画」と位置付け、「技術革新を基盤に新しい価値を創造し続ける企業となる」をコンセプトに、重点事業領域を自動車・医療・ライフサイエンスの3つとし、各事業分野で事業基盤の整備と強化、収益の柱となる主力製品の受注拡大、当社技術を活かした新製品の創造を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は30億2千5百万円（前年同四半期比9.8%増）となりました。利益面では、連結営業利益は1億5千6百万円（前年同四半期比31.6%増）、連結経常利益は1億6千6百万円（前年同四半期比37.9%増）、連結四半期純利益は1億4百万円（前年同四半期比35.0%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

工業用ゴム事業

工業用ゴム事業では、機能製品であるRFIDタグ用ゴム製品の海外向けの受注が引き続き好調に推移いたしました。また、ASA COLOR LED及びスイッチ用ゴム製品等の自動車関連製品の受注が海外向けを中心に増加しました。

この結果、工業用ゴム事業の連結売上高は24億2千3百万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。またセグメント利益は2億6千3百万円（前年同四半期比19.6%増）となりました。

医療・衛生用ゴム事業

医療・衛生用ゴム事業では、プレフィルドシリンジ用ガスケット及び採血用・薬液混注用ゴム栓の受注が堅調に推移いたしました。

この結果、医療・衛生用ゴム事業の連結売上高は6億1百万円（前年同四半期比6.9%増）となりました。また、セグメント利益は3千5百万円（前年同四半期比145.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて2億1千4百万円増加し、86億7千1百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べて1億3千9百万円増加し、53億8千6百万円となりました。その主な要因は、借入金の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて7千5百万円増加し、32億8千5百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前第2四半期連結会計期間末に比べて1億7千2百万円増加の7億4千2百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは2億1千万円の収入（前年同四半期は8千6百万円の収入）となりました。

これは主に売上債権の増加額1億6千7百万円（前年同四半期は4億8千3百万円の増加）があったものの、税金等調整前四半期純利益1億5千6百万円（前年同四半期は1億1千5百万円）、減価償却費1億9千8百万円（前年同四半期は1億8千1百万円）等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億3千3百万円の支出（前年同四半期は2億5千7百万円の支出）となりました。

これは主に定期預金の払戻による収入13億8百万円（前年同四半期は11億6千万円の収入）があったものの、定期預金の預入による支出12億6千万円（前年同四半期は12億1千5百万円の支出）、有形固定資産の取得による支出3億4千万円（前年同四半期は1億9千4百万円の支出）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1億7千3百万円の収入(前年同四半期は4千9百万円の収入)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出5億8千8百万円(前年同四半期は6億2千4百万円の支出)があったものの、長期借入れによる収入8億円(前年同四半期は7億円の収入)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年8月8日に「平成27年3月期 第1四半期決算短信」で公表しました通期の連結業績予想を変更しております。

詳細につきましては、本日公表しております「平成27年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,072,245	2,063,124
受取手形及び売掛金	1,532,309	1,694,319
電子記録債権	88,001	90,606
商品及び製品	124,650	159,550
仕掛品	244,693	219,926
原材料及び貯蔵品	121,703	113,517
その他	95,839	121,086
貸倒引当金	△3,119	△1,651
流動資産合計	4,276,325	4,460,479
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,224,080	1,170,777
機械装置及び運搬具(純額)	1,122,903	1,122,499
土地	887,802	887,802
その他(純額)	139,648	158,653
有形固定資産合計	3,374,434	3,339,732
無形固定資産	10,491	10,387
投資その他の資産		
その他	799,139	864,732
貸倒引当金	△3,422	△3,422
投資その他の資産合計	795,717	861,310
固定資産合計	4,180,643	4,211,430
資産合計	8,456,968	8,671,910
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,023,940	1,019,684
1年内返済予定の長期借入金	1,017,022	1,046,607
未払法人税等	87,453	52,617
その他	633,522	540,679
流動負債合計	2,761,938	2,659,588
固定負債		
長期借入金	1,761,263	1,943,289
役員退職慰労引当金	223,307	261,588
退職給付に係る負債	474,792	500,076
その他	26,112	21,880
固定負債合計	2,485,474	2,726,833
負債合計	5,247,413	5,386,422

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	516,870	516,870
資本剰余金	457,970	457,970
利益剰余金	2,122,928	2,204,867
自己株式	△45,705	△45,705
株主資本合計	3,052,062	3,134,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	81,309	109,264
為替換算調整勘定	76,183	42,221
その他の包括利益累計額合計	157,492	151,486
純資産合計	3,209,554	3,285,487
負債純資産合計	8,456,968	8,671,910

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,754,241	3,025,005
売上原価	2,038,632	2,253,255
売上総利益	715,608	771,750
販売費及び一般管理費	596,347	614,770
営業利益	119,261	156,979
営業外収益		
受取利息	640	775
受取配当金	2,391	2,797
為替差益	232	7,459
補助金収入	9,259	3,824
雑収入	5,851	6,029
営業外収益合計	18,374	20,886
営業外費用		
支払利息	11,314	9,542
雑支出	5,915	2,304
営業外費用合計	17,229	11,847
経常利益	120,407	166,018
特別利益		
固定資産売却益	33	—
補助金収入	—	58,466
特別利益合計	33	58,466
特別損失		
固定資産除却損	5,022	11,178
固定資産圧縮損	—	56,674
その他	32	—
特別損失合計	5,054	67,853
税金等調整前四半期純利益	115,386	156,631
法人税等	37,826	51,953
少数株主損益調整前四半期純利益	77,559	104,677
四半期純利益	77,559	104,677

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	77,559	104,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,277	27,955
為替換算調整勘定	62,756	△33,961
その他の包括利益合計	79,033	△6,006
四半期包括利益	156,593	98,671
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	156,593	98,671

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	115,386	156,631
減価償却費	181,800	198,200
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	384	△1,465
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22,177	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,271	38,281
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	25,284
受取利息及び受取配当金	△3,031	△3,573
支払利息	11,314	9,542
為替差損益 (△は益)	△1,909	△2,697
有形固定資産売却損益 (△は益)	△33	—
有形固定資産除却損	5,022	11,178
固定資産圧縮損	—	56,674
投資有価証券評価損益 (△は益)	32	—
補助金収入	△9,259	△62,290
売上債権の増減額 (△は増加)	△483,555	△167,049
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△17,384	△6,602
仕入債務の増減額 (△は減少)	194,308	△6,155
未払消費税等の増減額 (△は減少)	16,016	26,729
その他	32,216	△29,462
小計	70,756	243,227
利息及び配当金の受取額	2,948	3,563
補助金の受取額	9,259	62,290
利息の支払額	△12,256	△9,534
法人税等の還付額	20,401	—
法人税等の支払額	△4,418	△89,160
営業活動によるキャッシュ・フロー	86,690	210,385
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,215,803	△1,260,849
定期預金の払戻による収入	1,160,200	1,308,677
有形固定資産の取得による支出	△194,560	△340,632
投資有価証券の取得による支出	△1,878	△34,449
その他	△5,095	△6,443
投資活動によるキャッシュ・フロー	△257,138	△333,697
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	700,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△624,400	△588,389
配当金の支払額	△22,420	△22,407
自己株式の取得による支出	△64	—
その他	△3,306	△15,719
財務活動によるキャッシュ・フロー	49,808	173,483
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,446	△9,937
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△102,193	40,232
現金及び現金同等物の期首残高	672,476	702,589
現金及び現金同等物の四半期末残高	570,283	742,821

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	工業用ゴム 事業	医療・衛生用ゴム 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,191,650	562,590	2,754,241
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,191,650	562,590	2,754,241
セグメント利益	220,664	14,381	235,045

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	235,045
全社費用（注）	△115,783
四半期連結損益計算書の営業利益	119,261

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	工業用ゴム 事業	医療・衛生用ゴム 事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,423,582	601,423	3,025,005
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,423,582	601,423	3,025,005
セグメント利益	263,830	35,253	299,083

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

利益	金額（千円）
報告セグメント計	299,083
全社費用（注）	△142,103
四半期連結損益計算書の営業利益	156,979

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的研究費及び提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。